B M 17

菜

従事するも

生命線を行

料級揚

余人

To

本事外線領事紀小田朝鮮保が現 本事となつたが、先着の北村 心事となつたが、先着の北村 心事となったが、先着の北村 心報告に依れば右古賀の使用 せる鮮農が故意に蔣農田地に 浸水せしめた形跡多分にある

警者院主趙爾沈か該地議長地 ・カー撫順千念案の中華階院 ・カー撫順千念案の中華階院 外共権國人として扱はれ、滿 の粉料は審陽縣のみで配に人 が設生して始めて判明するの で、殊に粉争事件の終末を告げ の入込んだことを知らず事件 の入込んだことを知らず事件 の入込んだことを知らず事件 が設生して始めて判明するの で、殊に紛争事件は鮮人が治 聯通商代表部は日ソ開戦のデースルピン関連】最近生哈ソ

漸次退却開

日本品にダ

として通商代表部及ひダリベ として通商代表部及ひダリベ

事より二十一日外務省に達した報告に依れば歐単航空公司 は上海、農州間の航路を更に 旗張し専夏に達せしめ、此の 類航空路の第一便は十九日上 海を出發したが、當分の間は

ンピングを開始し数一ヶ月間 結ひ、一方煙や、羅紗生地類 結び、一方煙や、羅紗生地類

に其の額は十四萬七千圓に達ンピングを開始し玆一ヶ月間

た四個の涌而機關を一個に

在哈ソ聯

部

全を期

総で縣公署中山参事官は語る 率天國通D字石寨鮮農事件に

に派遣したから明日正確な二十一日早朝調査班を現地

に減農田地に水を注ぎ高梁 懸意に解すれば古質が故意

出豫算

0

参事官語る= 備局当

豊十三家族の入地と共 的をなしたものである。 主どの間に三百天地の他 策を考 世界に水路を開露せんとし端 の後鮮農は寒天に引揚け棚口 がに依る損害賠償として五千 関を要求して居たが、縣公署 がになる有害賠償として五千 でである。 でで、其 がになる損害賠償として五千 でで、其 でで、其 がになる損害賠償として五千 でで、其 でで、其 がになり本日無順に於 でする事になり本日無順に於 **らに事件の擴大を傍観する**

て大連協通」、阪村が経営する日本等務協会が府下から酸る日本等務協会が府下から酸された製画工、石工、鐵筋工文一氏以下四十七名が府社會事業主事松田徳太郎氏に引率され満州國の事業建設に一臂 熟練工一行來連 0

三棵樹埠頭竣工 輸送旺盛

が相當根張、剛ばれてゐる が相當根張、剛ばれてゐる が相當根張、剛ばれてゐる 移民五百名

九月迄に渡滿

(王百五)

印点

(並川 芳三年書)

お 町四ノ四三井物 町四ノ四三井物

月内地で資調訓練を施した上頭省で人選中であるが約一ヶ頭省で人選中であるが約一ヶ

干原大約は指角原の単び復権へ

「干心さんにしる、際代さんでもわたしの職みを裏切って、他一の

第一年 第一年 第四番は興安胡洞五一七 第四番は興安胡洞五一七 第四番は興安胡洞五一七

御來客様には

下宿鄉 北西河

わたしの影が減りにして下すった それでは、指称のお二人の

ますといつた概で、

あんま。 第至急偏何ひ致します 事を 事を 事を 事を のなります

か、その二つの途の分岐階に立つ

中層國に付予急襲認みの方左の大大を開発して、一個南部飲食店營業を開発した。

業

日

望賓屯紛擾

財各部歳出養算は主計處に於 て査定完了、其决定總額一億 八千八百七十餘萬圓で、大同 二年度より四劇場の膨脹を示 し、國務の發展を如實に證明 し、各部所管も夫々一律に滑

前年に比し新年度は二百

寧夏迄延長上海深州線

との一個突として

着のダイヤであるが右は上海 青海新羅線の計畫が新疆の盛 大ものである、新疆省一帶を たものである、新疆省一帶を

前年

11/211/410

特四百萬圓の減少あるためで ・ 本度に於ては無くなつた結果 ・ では、 ・ に對する挑込金七百萬圓が新 ・ に對する挑込金七百萬圓が新

事變後新設された

洲關係會

會株

趾式

MO-000 10-C00 <-11

うか、明日に

滿實業協

日

斯くの如き事件を其の儘等 んとする根謄と觀られる、

時部拂込金なき為

事實は寧ろ飛

タイプライター 印書新 清 社 新原日之出町一ノナベ 前原日之出町一ノナベ 前 社

大經路十五八島通南端長野高會 北澤層員製版所

になった。 であった。 なったのである。 なったのである。 なったのである。 なったのである。 と通りならぬ胃臓の 格安品荷揃 双葉洋行

元五三五三五

間に至の診察のところに、置いて 自分の衣類から、持ち輸一切を、 が、まだ年の若い間り盛りの女で次の間に闘ってゐる付流の女性 それが彼女の脱出を容がにさせて 知ってわたので、 盟 朝日 通六 九

成子は、歌々舞もやらで、若へ次 だかにさら言はれる遊もなく、





はあるし、艦一人悩しむ者もなか は、それから、手さじりで探りで たのが、下便所の傷らに続けて .保管確實

△合資會赴泰區工業

8

8

養絡町七

△ 奉天工業土地徐式

17000

17000

一、各種物品の販賣工業地區の経営

8

중

安一・

一新京日本橋通二

17400

諸外國に

九三市山縣通一

で来なかつた。 かってから後の悲いなに改ぎよいか知れないと思ってから後の悲いない中の。 しみを着へると、かはない中の。 しみをあつると、かはない中の。

个 一 つ

相生常三郎

△合資會肚泰和公司

5 容

3 창

V-10

今日の大き

△日湖木材株式會社

量へ三

會社の株式引受及所 木建築材料管質其他 大林管質及製材、土

卅田

急背

西市北大山通

なんことさへ、 切って

する、この東

すて合いした。大野に歌風した彼女は、歌の外から、歌の外に

四ノース

親切に縛されて、こうへ件はれて は、裏だ臍まれて、こうへ件はれて

大適市伊勢町一

肚式

タスルレタ・キ

つて來た。

わたしの現態を計

派管品安會

祝町戸自中四

博多屋

會合

大連鑄造所

90

會發田中醫管器店

11.7 001

二、揮發油の販賣、大は各種の代理薬

新鮮組

北滿貓菜株式會社

谎

白製物还有線志

伸出。電三三〇〇塔



電話二八六九番 新京三笠町二丁目





電話三四四五零

關治療所

多少に不拘御下命下さい

1

井

粗品逃呈

營業を開始致します。 がな御宴會、御會食場として御利用願ひ废く左配の通り すため従来の納原園を改めて『庭園食堂』として事ら静 〇 普通定食 二、五〇 以上后七時一午后十時 特別定食一、六月二十三日一八月三十日 每日 テーブルは前もつて御申込願ひます一品料理は調進致しませぬ 一品料理は調進致しませぬ 迅出速前 今夏流行 庭園 割烹 新京日本橋通 新京ヤマトホテル 食堂開始 みしまや吳服店 藪

一、五年

初夏の訪れ!! 百貨 金 本 ルメツト帽 ナマ 文字 金泰洋行 電話二二五九

外科、性病科、泌尿科 同仁醫院

診療時間 日曜祭日午前九時至午後三 富士町三丁日

午的

□出前迅速□ ち 純東京にぎり、茶 北陸名産 5

4

新京の草分 食道樂 共他お好みに應ず 花本本 なめと料理

件の見透しも各を月本に野する 新典質の判明、それに野する 新典質の判明、それに野する 新典質の判明、それに野する を関係を包含する全事 相よりの中間報告は事件頭初を大藏省事件に關する小山法を大藏省事件に關する小山法 而して同事件は飽く迄後審腦 神の今貌、輪廓、並ひに中がかり上、齋藤首札に野し全がかり上、齋藤首札に野し全がかり上、齋藤首札に野し全 件の内容を詳細に報告、説明開報告の核心をなす大職省事件の今貌、輪廓、並びに中 職有事件の ・更に高橋駿相に對しても 一内容一を説明する に定例閣議等を待たず檢察並

和昭

月中としても大休来週中頃か相並ひに蔵相を訪問すべく太事件の報告あり次第直もに首

高會談終了後次の如き協同コ よる六日以來兩代表部は或 表る六日以來兩代表部は或 明題に就き研究を變けた結 明本日文書の交換を行ひ其 の結果來る二十六日午前九 時より一般委員會開催に央 定せり、尚本日兩代表は會 財政員、授置上) 日米關係

松方乙含氏 東京國語」滯米九十日齋藤 大使を輔けて活躍して居た日 米親善早間使節松万乙意氏は 本日早朝淺間丸で横濱入港左 の如き慶明費を發表した 日米制の問題は各方面より 整を重要視し日本との貿易 態を重要視し日本との貿易 際で重要視し日本との貿易 関係の重要性を認め大統領 以下全國民が日本の平和を 要認せる監を諒解し、同時 に時機を捕へて最前關係へ に時機を捕へて最前關係へ 好轉せん

英航空隊の威嚇に

日蘭會商俄然緊張 **半に百る協議を遂げて午後入** らずの會談をなし前後二時間 滿洲事變生存將兵の

H

で停頓狀態にあつたが、二十一日発展通】日

時退出した

緊張を基するに至つた、即ち 日を申込んで来たので、俄然

印側の申込みに接して長岡

回論功行賞 は四千萬圓で、内二千萬圓はこれがある。 【上海廿一日 登園通】 順天號 対人 拉致事件は二十一日夕 刻全部釋放、救助され、、即 ち同時刻に日英兩國の航空隊 は二十日 黄河々口に海賊圏を 質見し、彼等に對し「直ちに人質の威嚇を發したところ海賊 国にこれに驚きてれば爆撃する」 に向ひつ」あり英人等は英國はこれに驚き取敢えず外人 で乗せて釋放したものであるに乗せて釋放したものであるに乗せて釋放したものであるに乗せて釋放したものである

天津部隊 交代部隊歸

親毒を著しく促進するで

【東京國通】二十一日駐英松 兩外務省共 シアルを認む

き兩國代表の正式交渉が去月は外交機關の豫領交渉に引續 生外交機關の豫領交渉に引續 生工人により外務省に達した報 【長崎阙通】蔵本副領事は上

を規定する目的である は廃止され相互的最惠政係す間 は廃止され相互的最惠政係す間 は廃止され相互的最惠政係を は廃止され相互的最惠政係を は下する目的である。

「東京國通」 ・ト友の會」書記局責任者で ・ト友の會」書記局責任者で ・大変の會」書記局責任者で ・大変の会」書記局責任者で

(天津中一日登城市) 過去一ヶ年北支守護の軍任を果して 原際に歸還する天津部隊は七 井入尉引率の下に二十一日午 前九時兵營出鈴、午前十時半 十一時の二回に亘り在留官民 多数の歌没裡に天津平停車場 動に相當の援助行縁をしてる背後にあつて、図2の左翼運輸後にあつて、図2の左翼運輸員であつた前参事官競情報 書記生が か代つて左め如く語るかで面會を謝絶し横川 復と哲

た譯である、支那側の空氣を避け度い、本人が發見されて事件は茲に全く解决しれて事件は茲に全く解决し

賊恐れをなす

日全部釋放順天號事件解决

単艦に救出された

新記録を出す

大西洋上で前後四日間練習を では、大西洋上で前後四日間練習を では、大西洋上で前後四日間練習を では、大西洋学の根據地に野航するが七月 では、大西洋学の根據地に野航するが七月 では、大西洋学の根據地に野航するが七月では、大西洋学の根據地に野航するが七月では、大西洋学への回 では、「世界」という。本 を計画には、「大西洋学への回 では、「東京」では、東京 では、東京、大西洋学の根據地に野航するが七月では、東京では、東京、大西洋学への回 では、「東京」では、東京、大西洋学の根據地に野航する。本 では、「東京」では、東京、大西洋学の根據地に野航するが、大西洋学への回 では、「東京」では、東京、大西洋学の根據地に野航するが、大西洋学への回 では、東京、大西洋学の根據地に野航するが、大西洋学への回 では、東京、大西洋学の根據地に野航する。東京、大西洋学の根據地に野航するが、大西洋学への回 では、東京、大西洋学の根據は十八

分子

動静につき左の如くつた は去る十八日ニューョーク港 を出設、太平洋岸に向け復航 を出設、太平洋岸に向け復航 を出設、太平洋岸に向け復航

の立場意向を自由に忌憚な 金中某國側の分よ **萬元と稱し、義和** たと傳へられより捻出する和関事件賠償 卒三名を上

スペートショナル執行委員會幹部會の機関は左の如く次宅した 中、コンミンターサショナル大 時の機関は左の如く次宅した で、コンミンター執行委員會幹 共產黨大 會議題

(8

本東京國通 松平大使より外で東京國通 松平大使より外に力き開意なき意見の表表を を報告したのみ、また松平大 使は本國より具体的調合未到 で大だ明年本会議の場所時期 で大だ明年本会議の場所時期 で、日本としては準備の都 につき隔意なき意見の変換を された。日本大使館で松平大 では本國より具体的調合未到 につき隔意なき意見の変換を を表したのみ、また松平大 につき隔意なき意見の変換を を表しては準備の都

「ない。 なの第三段首府とする事を着 がの第三段首府とする事を着

らその後に開催したい旨を述らその後に開催したい旨を述

一意見 のみで何處を可

■ 立起日元
ころ迄には行かず、又關米ところ迄には行かず、又關米ところ迄には行かず、又關米

如く諒解される

加入を俟つて正式に决定

● 申組で楽た日米に對けるがある。

決定を

即ち英國政府は逸早く會商

海軍豫備交涉參加

國正式决定

英米政治問

半 日正式に参加するに決し、ボ ある れてめたフランス政府は、計 ある 七月八日ロンビザ 受渉に関し其の態度を注視さ 七月八日ロンビ

す事にけ 絶匈反對なる旨義さの政治問題と同様の護題と爲 の政治問題と同様の護題と爲

過日の第一回松平大使との

(東京関通)海軍會議に我が ・ 要求には反對と報じ、慶出外 ・ 要求には反對と報じ、慶出外 ・ 要求には反對と報じ、慶出外 ・ 要求には反對と報じ、慶出外 ・ との理前では ・ の方針だが、影近英米間では ・ の方針だが、影が表別である。

主張を頃から否認せんとすれば、明年の會議も決裂乃至は 日本脱退の外なしとし、英米 の眞意判明を注目して居り場 合に依つては慶田外相自身で 特日英米大使と個別的に豫備

東上の結果軍部はた為の諒解が本を見なかつたが人を見なかつたが人を見なかったが人を見なかったが人を見ない。

帝國政府は來年の本會議に於

比率改訂要求には

宇垣總督の東上で

朝鮮の對滿

民會

祉

具体化

今井田總監も上京

英米は反對

廣田外相の態度注目

大きな收穫があつた、即ち

不討議主義を容認

外務當局會議の前途を樂觀

です、何等具体的の決定を見

4.)

海軍々縮會議

來年の六月以 仮とならん

日米豫備會商終了

人贼一

【ニューヨーク廿日發剛通】

ス長官語る

國は各般の事項に亘り夫々之を決定する事なく一應各 京政府教育地は満洲國人の反 京政府教育地は満洲國人の反 護體の目的から議洲國『中學 以上の有力なる教員及學生の 以上の有力なる教員及學生の

第七回世界

局に於ても英米の態度に滿足期待をかけ得るもので、交渉の前途に

してゐる模様で

に入らず

英の意圖

又は必要に應じては一堂にてマック首相が各國の意向に話るか

速急的討議

接頭と、コ 【上海二十一日 及國通』外交部大長唐有王は今朝帝京より上海着、通車限証に大体決定を見強かに技術問題なひその機能がに技術問題なひその機能がに対析問題なひその機能がに迫りに迫り過ぎて居る、目下の情勢では必らく数日の延期となるのではない。 上海を離れることはない、上海を離れることはない。

密會議を開催して 整理少員高潤乏は 整理少員高潤乏は 各種の反日工作を 地級して反日宣傳・ 全學生を以て、巡 の 一条 単生を以て、 巡 吹を爲す爲今夏休 地某機關への情報 の買收計書 支那 おおと連日 秘 北國 に 最近 南京 よ る あ が 、 常 潜入滿

に苦中にあると云ふにある に苦中にあると云ふにある

多少延期か 唐外交次長談 所に聞く、論ひは前芽のうち最近鮮高量間に穏争の路を各 新京ファン早くも血を湧かす外來野球チーム機々今夏來征 に摘みとること肝要

▲財政部二等主計正 (関東軍 倉庫長) 二十一日午後七時 三十分養大蓮から 二十一日午後九時四十五分 整哈市へ 一十一日午後九時四十五分 一十二日午前七時常哈市から 一十二日午前七時常哈市から 一十二日午前七時常哈市から 一十二日午前七時常哈市から

▲山本文長(織路總局)河上 ▲迫喜平次氏(交音部連務司 長)二十二日午前八時三十 分發哈市へ 往來

第二回 第三国 |

★大連金纱票 質值 「老片」系分面 質值 「老片」系分面 質值 「老片」系分面 類值 「老片」系分面 是一次分面 大連上海向

辯護士

日本極左分子に援助行為 リ聯外 交官

B催されたが今回その

人民委員 會新設

ハルピン頭通り

野中央教 産を購、せしめざるやうし命 に對し、満洲國内に在住する。 ・ 満國境に險題なるな氣が腰つ ・ 大野政府は同國在滿各領事 ・ 令を發した、同命令は現下環 不動産等を買ふな」

留學生 省を許さず

た以外に新事

賃無根と否定して居る 対ラジボ方面にて報習中との 報道に騙してはソ聯常局は事 五、コミンター首脳部の演繹・建設事業の経過及ひ報告四、ソ聯に於ける社會主義的 ウラジボ演習 ツ聯否定 の増加を示してゐる

下 附料金値下を 旅券と證明書の 福州國政府明年度豫算廟大脳 ・ 関カ日に近ひゆく姿、共 その日く

宮御來滿を聞く時更に朗か滿洲國江防艦鏡を猶水、海の

腰に海賊屁古垂れる、さぞや順天號の人質拉斡、日英の强 飛行機なき昔がなつかしかろ

新京市况

満洲國内の

に無期碇泊するから 対してはスワ

ン長官は言い太平洋岸 変を濁らし、其事に就ては何

多分來月初旬北上すると則

國庫曾續調查

東京國通) 豫 算編成期を前に大戦省では國庫收入の實持所得稅、營藥收益稅時代本 版・東京、名古屋等電響量無旺 版・東京、名古屋等電響量無旺 版・東京、名古屋等電響量無旺 大戦省では國庫收入の實持 の・五月末の所得稅は入年度 大戦電額の一割六分滑で特に大 版・東京、名古屋等電響量無旺 大戦省では野瓜。ある、個人 管業稅は入年度決定額の一割 大利力で適迭稅は五分七種

おいる。

第一回 第一回 10:74:00 10

特 查 現 物 出來高 東大洋對金票 10円配置 現大洋對金票 10円配置 現大洋對金票 10円配置 現大洋對金票 10円配置 現大洋對金票 10円配置 現大洋對金票 10円配置 20円式 20円式

0 大 東京·支店大阪 電話 四八八四番地京曜町二十回四番地

され代理委員長にはハパロフ てるない を対會の機關は廢止され、フスキーが任命されて居る、 事委員會及ひ赤軍陸海軍条護 しガマルニック及ひッハチエ アスキーが任命されて居る、 フスキーが任命されて居る、 フスキーが任命されて居る、 フスキーが任命されて居る、

★大連株式

女中さん至急入用年齢十六、

七才よ

女中

三二元の

當方家族小數好遇しなす希望者は本 人來談あれ ・野町一ノニ五 ・野町一ノニ五

履歴書御持参下さい

さんを求む

新京蓬州町一丁目十五

婦人科 堀山醫院

電話三一八〇番

▲張曆共和會社員三十四名二十五日午前六時三十分發哈市へ 前入時三十分發哈市へ 一十五日午前六時來京同日午 一十五日午前六時來京同日午 一十五日午前六時來京同日午

・ 大連特定

・ 大連特定

・ 大連特定

西州 五五00

所御希原の方は左肥へ午前中而談所御希原の方は左肥へ午前中而談

協和俱樂部內

フォード トラ トラツク

朝日タクシー内

新京富士町三ノー三

沼田勇法律事務所 電にこして七番人船町四丁目廿九ノニ

★大連 200 年 200 年 200 年 200 年 200 日

第一回

各地市場

選問は當で全然白紙の新移民 地間拓等一切を新設會社に収 地間拓等一切を新設會社に収 を を は、衛生施設、農事改良土

十九八七六現 現 十九八七六袋 月月月月月 日月月月月 假股股股股份配數配股股股股股股份 60 足 大春

神し立て、航行し、更に可能 地域がは響てソヴェートの手に が、進出する計畫である、因に古 が、他つて航海が行はれた事實が あるがその後數学全く航海社 今回の江防艦級の進出によつ て奥地人民の國家觀念は一變 し、邊境の治安維持上にも多 し、邊境の治安維持上にも多

各地の水害

1

現場監督さん

龍井の天然池埋立に絡る

承德神社

文無しになつて途に捕はる

七月一日室町小學校で行ふ

抽籤は

カフェーモナミに現はれたと 一光 上 しか 属出に接 しお 気暑で捜査の結果二十一日午後二時ごろの結果二十一日午後二時ごろ

外來チ

ム續々來征

主演 大日方傳、逢初夢子吉川滿子 三井秀夫 助吉川滿子 三井秀夫 助帝見鷹基 岩田鉱吉 飯田蝶子 阪本 武 演 アルなお振るのにアッパーカットを喰はしてゐる作品 かり たっぱん してゐる作品 カットを喰けしてゐる作品 カットを喰けしてゐる作品 カットを喰けしてゐる作品

を戀はず

野球界

モナミに現はれ

若い番號七百を

習會は最初の豫定を變更し、新京地方事務所主催、漬物詩

とに決定、更に密称スポーツで、 大田 補南新京軍と對戦することに決定、 一十八、 九尉日に 亘つ 本る、 二十八、 九尉日に 亘つ 本る。 二十八、 九尉日に 亘つ まに 関東州内野球大會に 天晴

つた更に入月に入つて早々明治大學第二軍を始め中旬以後には横濱高商、闘四大學、東京帝大の各チームがこぞつて東征するはずで、本年の首都東部はこれら外來チームの東征によって稀に見る活氣を

新スター八代輝 年 第 尾上榮五郎 林敏 夫 共 に 下春の 夢 い ま い づ こ 一川字禮維 主 演 をし 配 等 に 思 を 作品 に か つ たばか り に 學 友 た し 社員から 敬遠される 彼け

0||||0 ||||0 ||||0

野球戦 對ピュー

D

漬物講習會

中国、 対合が見られること、なつた 対合が見られること、なつた は合が見られること、なった

三日から十八日までに、なほら八日まで、同じく立数は十

上の組数に上るであらう。

尙

槍さい戀慕

早稻田、

立教、明治その他

刷チームも來征することにな同月中には奉天滿俱、全撫順

早々明

賞品として社會係、森洋行、 西山、文海堂等の運動具店よりの寄附らり出場選手は此際 至急地方事務所社會係體協庭 の事別によってのカーン

大々的に開催

化病院に收容されたが輕過良

百廿名の海兵募集

旅客取扱別始 いたのは客取扱を中止中であったが二十二日から最高間も水道側所があつたが二十二日から旅客の取扱を中止中では大きなの本が二十二日から旅客のたが二十二日から同国間も水道側があったが二十二日から同国間も減水したので徒歩連絡を開始することになった、同地方面で旅客は右

在 て現金百二十圓を借りその足 で飲食店天金に行き十圓の飲 言葉巧みに救き腕卷時計各一個を借り三浦質店に入質し、「同必富士町一丁目料亭一方に 登樓」、藝妓彌ン茶を揚げ五十四圓を消費し翌日カフェーを廻り遊與、無一文となつた 足を再ひ一方に至り彌ン茶を

十二二日は二日日 毎日豊夜二回公開 特別與行でも今週は小津の 作品の持つ鋭さを知つても らひたいため料金は 大人 六十銭 本人 二十銭 小人 二十銭 小人 二十銭

一、後援 新京日日新聞社 一、後援 新京日日新聞社 一、後援 新京日日新聞社

現場には案内者の特別案内 で、人員 百名限り で、サービス 査食辨為材で、

業久保田留吉氏方へ抵富と、内百袋を説町二丁目左官請

新京百貨店

處を逮捕

ひ目下同地で建造中であるが 数部より域を登し、起工を見た 数部より域を登し、起工を見た が之を解体してヘルビンに弾 か之を解体してヘルビンに弾 が立を解体してヘルビンに弾

(音林園通)東寒縣七十二個 原子にばん居する抗日義勇単 前数総司令 吴義成は名地に人 を派し満洲國軍警の複鳳逃走 を加制しつゝあつたが、察る 七月一日満洲國軍の大政編に 日務勇軍の勢力擴大を企画す でベバ月上旬来青林、敦化、

経験と對峙中であるが距離はよれば煙硬地膜に使入せる距離が正性人せる距離が

定である、既に議洲國よりの 総よ二十四日(日曜)午前九 総よ二十四日(日曜)午前九 で開催費

日大野球部水連 は然本厚恵氏に引奉され柳人 監督 小林主將以下二十一名

八月一日進水式

台流匪約

安圖縣城を窺ふ

吳義戎一派が先發

改編に乗じ

抗日義勇軍暗躍

きな支給され客ひ男んで舞り上でいた。 一味の活躍は恐らく收獲ある ないと親られて居る

尾關管長音信

日滿庭

申込

み者殺到

地上の星座地上の星座がある。

廿四日日曜日開催

吉林軍の

程除に收容、若しくは相當の情報あり滿洲城軍憲では極力情報あり滿洲城軍憲では極力

て居るものゝ如しといふ 正を渡りソ職領に選走を焦つ

に、別綾き九州帝大は六日かは七月三日から五日までの間は七月三日から五日までの間とに決定、更に帝称スポーツ

三河地方の秘境深く

防艦隊溯江

吉拉林迄進出の豫定

中谷、二田口兩刑事が設見遠中谷、二田口兩刑事が設見遠いま案内所に立廻つたところをいる。

原型を募集することになつた に乗る七月一日新京から左記 によつて公主徴長事試験場見 によって公主徴長事試験場見

その他 一、親祭個所 農事試験場へ 一、親祭個所 農事試験場へ ・ 観察個所 農事試験場へ

さる三月一日の即位大典にあり特赦をうけた囚人九十九名は既報の如く二十一日をもつて護術の効力を失ひそれぞれでは破刑されたがこれをと犯罪別にみると

名でこの二名は何れも強盗殺 でうち無期の電刑を言渡され であたものは十四名、死刑二 産罪四名その他十四名

鮮人間には大恐慌を來し附近

サヤアレメナ」 はおふざけで

人である

けふの は 現大学對金票 現大学對金票 関帯對金票

级相場 10月24 1

海陸

今春來さしも多かつた満州祖 察旅行團体も夏の深みゆくに でも毎日來京團があり六月七 に段々少くなつた、それにし は段々少くなつた、それにし は段本少くなつた、それにし は日本京團があり六月七

なほ二十三日には二團体が來 に加療中の傷病兵二十名は二一の人が京邁邁 一泊、離京の 北瀬各地に現はした武勳を自あつたものだが二十二日は珍 二十二 日 離 京 傷病兵到着

井之上遼陽署長

本である

七 である

新京解設ハトで異獨赴任する理古警部は二十四日午前九時 明朝赴任

夏は高原

原政助氏で各種遺物の遺方、 関節は斯界の機蔵者として夙 に知られる全國遺物組合長大 に知られる全國遺物組合長大

煮物の煮方、炊事の仕方などを最小の勢力、最少の時間で 上品においしくしかも經濟的 に仕とげやうといふのである 自費五十銭、申込は社會係又 は宋事講習所へ

からと目企み早速工事に着手し水を枯らして水出にしてやらの池の水を豆浦江に引き入れ

瀬洲の公主嶺行は

新京驛ごピューロー主催で

御大典の

恩赦で

康く聞え、しかも十数日前迄 康く聞え、しかも十数日前迄

まだシャクにさわると痛むの 楽としないとのこと、

探險、

めつきりシナビテ來ました。
あの、▲ロートルの濟美最近
もの、▲ロートルの濟美最近

杯に怪しい妖光が流れ、今迄事の進行と共に夜な夜な池一

ところが奇怪な事には工

九十九名昨日釋放

二十四名、殺人罪八名、共人罪二十四名 危害民國罪

るのでさなきだに迷信深い朝めた更に五月初旬には一道泡地方に居住する滿人一家族五名が一夜の中に死亡したりする。

日日曜日に

高山署長

も転便なものに限り受託する豪知されたいと、なほ手荷物 松竹の杉本技師

民政部が目論む

衛生新施設

松竹の撮影技師杉本正次四氏は昨年の十月四日蒲田撮影所から新京の同社満洲支所へ轉れて拉賓線開通に當つては一ねて拉賓線開通に當つては一 民政部に於ては康徳元年新規 常多額に要求し、一般衛生施 設の擴張充實を期してゐるが その重なるものを列睪すれば たの如くである

りふは珍ら

お便りな

い珍現象

来滿に際しては軍および滿洲 をしてをり軍としても満洲國 をしてをり軍としても満洲國 をしてをり軍としても満洲國 であるところが多かつたが、今 同社の都合によつて日本にか へること」なり二十三日午後 傳染病液防施設は痛洲國の 傳染病液防施設は痛洲國の ところは滿鐵又は關東應 のところは滿鐵又は關東應 のところは滿鐵又は關東應 のところは滿鐵又は國東應

果を收めつゝあるが更に二公際費は大同二年度に於て

衛生技術廠も新設 理治を必要とするが故に衛 登野職を為立に設置し、 登野職を為立、一方一般簡 為難品の製造檢査に配給を 場際間に對し傳染病智識 を講習する設備を併設する 事になつてある。又 ・ 公階制度及ひ診療所 8年である、向日 日本の に於て製造す

臓、級芬河を設け検疫事務 臓、級芬河を設け検疫事務 に從事せしむると共に平素

し内睾天、薪京の二成煙所 上し十個所の液煙所を設置 上し十個所の液煙所を設置

し公醫をして其の診療に當 足の爲め實質診療所を設置 以て十個所に主として下層

五、啓着登録の開始

院の充實を圖る事になつて東北防疫臨の改善、吉林病

七、巡回施療制度

事になってるる。

政府は其利子額に相常する費五十萬圓の起債~爲し、

を支給する事とし、本年度る金額の限度に從ひ補助金額を標準として豫算の定む

放煙所に於て之を實行する を授運場に收容し職業を習 を投運場に收容し職業を習 を表達場に取容し職業を習

関に於て其 単業の經資の一 められたが 事業の性質上市 をして之が施設を諡さしめ をして之が施設を諡さしめ

る謎あり、本件は本年度後に對する巡回醫療を背施す

算とは關係なきも別途本年

際施設として注目すべき事度に於て實行せらる、衛生 を少し厚目につけ、カムフ

を兼算に計上した なつた、そこで本年度に於 ける右補助金額は約二萬調 を乗算に計上した

関の運用利益金を以て網民関の事業とし其基金一千萬

の前の日曜に彼氏と會ふ約束 だつたのでとうとう曾へなかだつたの、とても残念だつたり つたの、とても残念だつたり つます、▲この春美例の低し との中も極めて国務です

TICK

室におさまつて來連した。大港の「らすりい丸」の一等船

演業と各三回職の

開

最新式高級台設備成る!! 球場共榮俱樂部 業 御 披 露

一十四日開業三日間粗品呈上 千五百點篠田選手外一名當日午後八時より模範試合無料公開 市場事務所跡(藪虎前)

映畵フヰル ミリ 4 0

貸出しを開始 井 1:

喜劇幾多取揃へ 小型映畵の店 てあります

| き親切の當店へ | 活動フキルム現像は 本店

新京富士町五丁目

自自昌圖公司支店

引越荷物荷造 工事用材料運搬 貨物運送

本店大連吾妻驛前

看護婦、 派出婦、 婦 家政婦

の方は御申

込を

艺

親切 廉價 風雅な和室 家族的に 設備好く

新京梅ヶ枝町三丁目

電話三二二四番

御送迎は元より御旅情に 本

0

富

子

士士

建築事務所

六六通橋本日 *****************

島祿

日三十月五萬

* 長

世 明

線譜

教

東杵二家

倒殿女中 八〇 行友李風

勢つきだし

さてはと思ふでは色に

お前さんは、まあ、何といふ

○二黒の人 良電

る時は過を起し易し

稽古所

室町

室町一

一條通人形座一條通人形座

良運の方なれど

き利潤も人の

我か身に受くべ

さっ直感したが。 ~~なに、さうなつた時はさう 太い考へから、透出りもせ

十二月六年

が脳んだ男に、ちゃんと、昨夜の の年につかまつてゐるんだ すったが、宗の形は、

着いた微層から降りたつた。 やがて、小牛時 ……家の前に お思りなさいまし

何があつかとも知らない手代小しやつてくれたといつたんだが、

田三

とり建つた杉山半六。 よいに、率行所から他豆は たらとう。いを動 ではりますもので… 」 も見せずる

・ 内と子と乾が吉 ・ 内と子と乾が吉 ・ 内と子と乾が吉

本溪湖石炭

滿鐵指定販賣

科營 目業

那選とに変配せらる日東の人 七分の盛選と三

各木西種材 四

泰

山

木

局

製

材

部

丙と辛と乾が吉

内部の安心を引

和昭

をたしかにやつてくれたといひな ●六白の人 後援を よりて諸事面白く歩るべし、

部分品販賣部分品販賣

泰山行自動車部 泰山行自動車部

翼

一司、耐戸ノノ風しそ

新

京

12 大阪商船出駅

新事の計畫にも良果を結ぶ 変と壬と寅が吉

海陸貨物取扱 親切 叮嚀

搬箭負 越荷造

滿洲運輸

京路ニュサニを経二日三の宮崎組が京出張所

新京支店 新京三笠町四丁目

御何ひ致します▽ 話二七二六番

△御一報次第

附屬品全部取揃へて居ります 養話二一五六章

朝鮮軍 經理部質 伏受領帝國簽明協會有功質受領帝國簽明協會 全神受領

家各

界御指定御採用

K

0

急当

ライクリー

ニングの

責任ある専門店へ

御下

命下さい

ニング

專門店

熊本屋

意語ニーニC巻

話

支

二、 倉庫及保證 === 六五四 社式 委勞 前各項關係 託力

水发機 脂生道房械 用材工

華 洋

電話三二五七谷 行

コンデンサー付 清洲總代理店 古河電氣工業株式會社 大速·李 天·新京 業 營

Ξ

異民情の怒りは大きくなつて。

よくまあ、問う

て行ったのは、野六の行ってる

たか、それを場ちうとじつて、選

設置して優秀なる技術者を以つて親

家具需要激増の折當木廠に家具部を

黒・灰・チョコレ

電話三一一一番

切叮嚀に廉價を主義として皆樣の御

ばもう長持一件のことにちがひは」

ぞとお叱りになって、お別あげに

いだりをあらはしての

よつりと言へた思見いし

(E)

でごれるに使り、男犬猿原町お山 お来行さまから、海世標で都合の

新京

ピー 辞 二 理 護 士士

田

務

四四

九〇

五季

「はい、――町柳の彫りをお待

の幸いどんが、恐怖様不都合のほ

とはどんな場かと押してきょかへ

急

告!!

大同大街三中井百貨店敷地前

大山木廠家具部

こそれはその力共に引えがあら 押していひかへすと容赦せぬ

んな御用があったのでする」

「お除りなさいましっお飲さん

これよりたしかな話しにない 月明し歌からきいて来たんだから

諸書類作成、日滿 日滿民刑事訴訟、

日滿鮮通譯滿洲國商標登錄

顧問及鑑定、貸家貸地管理並

無兵船はいらだたしげにつづけ

がよくないやうだが、ど

もてつい 御入浴の 準備ある 御料 理

間

はいつて楽たのが、

主人男兵所に

自動、それは、自動の方のおき

0

新京出場所電話四〇八九零 寒天出場所電話四〇八九零 寒天出場所電話四〇八九零

内 皮 液 上 医 學 士 住

6

日

なつを

鰻

料

理

梅ケ枝町一丁目十ノニ

鍋料理

家族的に御利用の程を…… おちついた御座敷!

日

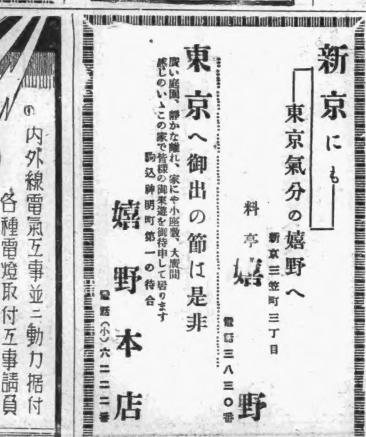
電話三七三四番

不獨回年日國第 **麦**板 應じます!! 一人機以上の御宴會 達襲 の河田は

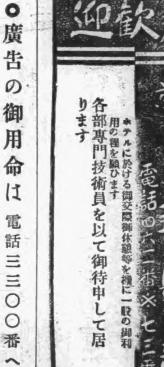




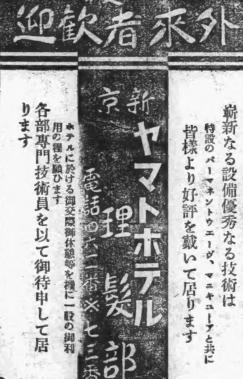
内外線電氣互事並三動力 各種電燈取付互事請員 滿州國電氣 **奥東軍電氣指定商會** 新京中央通り十三番地 司電 指定商會 氣部 据付



新 Ξ 。野



0





東二族道り三番地東二族道り三番地

報次第多上 卸 小賣

電ニススー本

究 所 製品



司

家族的で高尚な

食道樂

人船町ニーし七

人様近での御望を

を依頼接に在!

陸軍改正軍刀 式賣服 達川節鹿官請 道 有 角路馬五西路經大 番〇八八三話 電

配題を中心に討義を重ねたが 不會難は監型及び備他の縮小 一日の英米海軍強備交渉専門

御事の部寫フキル

近く満洲國から殿下に献上

父宮殿下

0

スペーシャンサー日酸園油ン英 機備交渉を極めて電大視して たるものの如く、米國代表部 で加く語った

すいである。若し此の豫備交 成功の貝込みあらす否やの 成功の貝込みあらす否やの は概る之を重視するもので

を希望するものである な希腊の無側延期される事 な希腊の無側延期される事が明 を希望するものである

尺度發見を期する

央米專門會議

こうではない、 酸正公が理由であり、 政治

一切を報告する。 一切を報告するが、 では、事件の全貌と發展性を 高橋蔵相に、大蔵名關は主要 音局としての嚴正なる立場で

縣事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 事官代理を命ず 新職官代理を命ず 新職官代理を命ず

依顧免官

住民政部署第(委任二等) 民政部署務司勤務を命ず 民政部署務司勤務を命ず 任漢河縣屬官(委任一等) 同縣参事官代理を命ず 穏刈 俊 任孫河縣屬官(委任一等) 任孫河縣屬官(委任一等) 任孫河縣屬官(委任二等)

事件は單なる部下官吏 国事件の責任問題に關

事件が豫審の取調べに依つ 事件が豫審の取調べに依つ 事件が豫審の取調べに依つ

治外法權

0

撤廢要求に對する實地調査

責任

可分論を

下罪と决すれば、厳切しの責任問題であるか

あつて、

日三十二月六年九和昭

ずば居据り困難と解する者が多いくと豫想され責任可分論は影薄となる、そうでなくても三長老が揃つて居ら付くと言ふ者もあるが、小山法相の報告は部門的でなく、某問題の核心を衝(東京國通) 總理側近者の中には、大藏官吏のみ有罪となれば單獨辭任で片(東京國通) 總理側近者の中には、大藏官吏のみ有罪となれば單獨辭任で片

遅延は複雑性が

原因

政治的意圖

な

塚南縣参事官代理を命ず 通化縣參事官代理を命ず 強権、経験を事官代理を命ず 上下縣を事官代理を命ず 上下縣。 上下縣。 「日本省公署總等を動物を命ず 「自都縣書在(委任二章) 「日本省公署總等を動物を命ず 「自都縣書在(委任二章) 「日本省公署。 「日本名》 「日本名 「日本名

大藏事件に關する小山法相談

よ 内 閣 瓦

9

有罪に決定せば

内閣の居据は全然不可能

責任可分論影薄す

頁八共刊夕紙本

位行 P H 11 所 DAR (F)

公庁を 吉川商會 電二九三番 板材 府甲板

語高G酸

精· 國浦縣屬官(委任二等) 開浦縣參專自代理を命予 巴彥縣。官 早川太三郎 特任神山縣參專官代現を命予 克克縣屬官 鎮永 大院雲縣屬官 鎮永 大院雲縣屬官 村田 符 雲縣屬官 村田 符 雪斯縣參事官代理を命予 哈爾濱著嘉鵬巡官 所屬。

設置せ 公衆便所 か

領色を感じ地に出た時 る、まん

◆ずらとは傷中♪ 事の即明名氏所件 て言つたら が、それで

地に三、四の名稱あるもの又は同音異字のもあつて一致してをらず行政上にも不便が多いので、民政部ではかねてそいので、民政部ではかねてそれのなかには各その發生の

て名稱沿車を剥をして至急報 を大の支障をきたすおせれが 多大の支障をきたすおせれが を表の支障をきたすおせれが

告するやうこの程通行した

一人、殊に鯖女とに ならそれで用は足 のよれこそ大笑ひ、 ませんかーなんかっなん

対済みませ

て外交事務を撤留させるため 野委員を派遣し政府代表とし、
現するものと観られる の長せんとの機器の希望で高、
公使級の人物を探ひ

運△

満洲の地名を

整理統一する

煉瓦製造業者

民政部愈よ乘出

時等甚だ困る。一寸 を放内達りから附屬 でも途中から家に時 でも途中から家に時 でも途中から家に時

いてやれないそれでも小便な らよい、而し?此れでは個人 の苦痛不便ばかりでなく衛生 に山吹色が轉かつてゐたので は首乱にとつての面目に闘す る此のあたり書局の方にも考

り稠されてゐる、仲々落付つが此の頃は「禁止小便」といの札が貼 の結果、道端とか建物の陰等

米陸軍當局發表 (ワシントンサー日酸機通) 米國陸軍省は七月上旬を期し アラスカのフェアパンクスに 同け爆撃機十悪から成る編隊 大飛行を敢行するに決しサー 日右飛行計饗を發表した、右 飛行は練飛行距離七千三百三 十五哩、飛行日数五十日の豫 乙種銀行利下げ 長途飛行 向にそれを順みやうとはせな を外に出る!そこには教育的 を外に出る!そこには教育的 な何ものもなく、世人また一歩 除なものはない、しかも一歩 を外にも及ぼして来るのである▼落ちつきない教育ほど危 を外にも及ぼして来るのであ

【東京國油】東京乙植銀行は ら質施か 七月一日か たくない、寧ろ多少奔放に過 ついては余りに神經質しなり ついては余りに神經質しなり 純た芽ばえを出来るだけ

自由に元氣に、彼等

朝 群 釜山、大邱、木浦 群山、仁川、平镰、鎮南浦。元山、清津、雄恭支店出張所及派出所文派出所本, 店 京 城

係助長の為

おしませれてある。から云はれてある。

爆擊機編隊

二日午後四時半鞍列車で、秋山第四課長、遠藤總務總長本の他軍関係者、新聞通信記者の他軍関係者、新聞通信記者の他軍関係者、新聞通信記者 志村大尉離京

の交渉に入つたが親善関係をで日濠通商関係も具体問題へ

公使級人物派遣

亦字財政に凱歌 3

堅質を物語

は、日も早く内容の明かならん事を希望して居るが、 医がつかない、世間では司 概告が得られるのか一向見 報告が視られるのか一向見 報告が視られるのか一向見 を登表するとはどうしても を登表するとはどうしても

國

大きな懸隔があれば

の意

見

地間を最本無烈に希望して居 並に備砲に就て徹底的額少时 並に備砲に就て徹底的額少时 ある

ウエフを

途中ダウリヤ、マカとなり六月上旬モスタ

で及ひチタの空軍各途中ダウリヤ、マカなり六月上旬モスタ

明年本會議の無期延期を希望

専門家會議 海軍交涉英米

技術的討議

米豫備會議を重視

任航政局技正(原任六等) 参 任航政局技正(原任六等) 参 任航政局裁正(原任六等) 参 極安縣議官 西尾清一郎 西安縣議官 西尾清一郎 西安縣議官 西尾清一郎 西安縣議官 西尾清一郎 西安縣議官 西尾清一郎

西 振 校 東縣西縣

は斯る外部の情報の常

牧を見積してゐるに で鞭算其ものが相對 の影響を如實に反映 積り八千九百九十五萬六千百萬圓にして九年度豫算見

の酒造品

関に比し約五百萬興の自然 増の見積りであったが、決 増の見積りであったが、決 で額は一割六分の増となっ てゐる

的二千萬闐にして九年度、個人營業收益税决定額 財政當局は異常な好成 諸税收の自然増加

一、酒浩稅實績は約一億九千 間に比し約百萬國の自然州 機算では三朝の自然州 を 所得稅及ひ法人營業市谷稅付 強算では三朝の自然州 込んであるが、實績は四割乃

月月日日 氣 ラ

英切られ の陣容は は紅何▼晋等の期待をン特率の晋等の新京山





・ 本店京都、支店帰岡、湿南、新京日本博画八五・新京日本博画八五・新京日本博画八五・大店京都、支店帰岡、湿南、新京・ 本店京都、支店帰岡、湿南、新京・ 本店京都、支店帰岡、湿南、新京・ 本店京都、支店帰岡、温南、新京・ 本店京都、支店帰岡、温南、新京・ 本店京都、大店市のおけばいません。

物色ず御用命を修理迅速多少に

劍道々具、柔道衣、竹刀各種製作販賣

御用

正春商店新京支店

歎願者續出 ソ聯人本國への歸還を嫌ひ

の 別に は 単純し 居るを 出海 の 漁船が 露 門 汽船 なる 事判 の 漁船が 露 門 汽船 なる 事判 の 高 経 な 事 判 の 漁船が ひ 見 し 、 稚 内 暑 に 日 か る が の 漁船が ひ 見 し 、 稚 内 暑 に 日 か ら か ら か ま の 漁船が ひ 見 し 、 稚 内 暑 に 日 か に か ま か ら か ま か に 財 か に 対 に 財 か に は か に は か に は か に は か に 財 か に は

時筋柄軍大製し行

排日學生

失地回復で騒ぐ

要並に優ける以下を を以て東 大ので今 たので今

や郡猿拂村沖台に五千噸級【 西羅國通】廿日朝北海道宮

北平方面

0

滿抗日屬体を組織、北失地回復運動會と

雅内署監視 なく行動奇怪 なく行動奇怪

の協議をなすが引下げ率は 特別常座 地 四分 特別常座 七厘 七月一日より實施と観られ大

井本運送店支店 新京祝町二丁目 香香港

まる といふのは最も意 をの出來ない現状では、使内教 育と合せて校外の教育が殊更 作必要だ▼中途轉入學見ること の出來ない現状では、使内教 で必要だ▼中途轉入學見ること の也理を動揺せしめる、それ Œ 引越荷物建築材料運搬 陸軍大臣指定辯護士 土地臺租證明手續 土地臺租證明手續 前半事辦護士

點於等引地寅治郎

領事館前妙法寺隣永樂町三丁目二十一番地

、滿洲國商標登錄申請代理、財産ノ管理清算事務

花種類科 "哲学士 朝日通り二つことろう前

電話四八三八番呼出 山源

· 朝鮮銀行新京支店日本銀行

電話二二 六五番 ALT SOL





赤痢患者連日續發 きのふ一日中に新患者六名

が赤痢六名、ジフテリヤー名 ともに全市に置り歩く野菜行 ある 「傳染病院」に隔離したもの て、赤痢豫防錠を配布すると を見てから買ふことが安全で 一つので、赤痢豫防錠を配布すると を見てから買ふことが安全で かっぱい である、な から徹底的に消毒を施行して 不順な天候の後を繰び赤痢愚 合計七名で、新京衛生酸負は 商人の野菜に對し、二十一日 不順な天候の後を繰び赤痢愚 合計七名で、新京衛生酸負は 商人の野菜に對し、二十一日

全京各中初等學校では御名代 宮殿下御來京を記念するため 調育聯絡曾を設立したことは 既報の通りであるが二十一日 の申合せ會で同會を新京教育 會の事業の一部として訓育の 根本方針の確立と校外生活の に列會を閉くことに决定した。

ためさんげた稀に見る孝女中の實兄など一身を終始一家の質など一身を終始一家の質など一身を終始一家の

二十四世 に動務いらいは であり、昭和二

るた、事年

站附近で

の馬車襲撃

團國際運輸

御大典恩赦

日三十二月六年九和昭

訓育聯絡會 新京教育會 部として行 0

齋藤豫備中佐

郡儀は准病院郡をもつて二十その効なく廿二日死去した、 もつて行はれる

本年最高八十九度

二三日はこの暑き

では遺留品国出獎職のため国 では遺留品国出獎職のため国 出品の價額を考慮して賞金を 受附すること→し各警察署に 起出の際警察官がら證明書の 受附を受けること→なつたた の遺留品の国出近乗著しく母 加した、試みに康徳元年三月 一日から六月二十日までの国 出品を示せば左の如くである ▲三月八日満人用靴一足馬 車第三一四六號馭者馬長柳 本の記書の国 一一時間馬英右同▲二十二日 一時間馬英右同▲二十二日

野菜消毒證に注意

□ (東京) 中国 (東京) 中

首都乘用馬車人力車組合で

留品屆出獎勵

なつてゐるの

便利低慄:

を交附

ですか、別に見て頂くや うなものはありません萬事 はこれからだといふ覺悟で はこれからだといふ覺悟で はこれからだといふ覺悟で ない、不真のために却つて 社會の誘惑なぞもなく一心 に勉強出来ます、再ひ渡歐 するのには大した理由もないが、日本内地にゐるより も系類がなくて氣樂に、思 も系類がなくて氣樂に、思

絵に曝されてゐる される(寫眞は江崎街伯)

ける午前十 時半發內地

軍人廿八名釋放 三月一日酸布線数令によつて 満別國司法部では二十一日一 較囚人九十九名の特数を行つ たが軍政部でも軍法會審の判 決によつて入監中のもの二十 入名(奉天五名、吉林二十二 名、黒龍江一名)を二十五日 特赦することとなつた 等傷病長は二十三日午前十一 等傷病長は二十三日午前十一 等傷病長は二十三日午前十一 等傷病長は二十三日午前十一 等傷病長は二十三日午前十一 等傷病長は二十三日午前十一 を見て感激した、なほこれ を傷病長は二十三日午前十一 を見て感激した、なほこれ を傷病長は二十三日午前十一 を見て感激した、なほこれ

【北安鎮護通】常地齋確報に 支治級二站西方約入料の地點 度治級二站西方約入料の地點 一定、不温麗首不明の約五十名の 原島 単粒折から同所適行中の の部落に放火掠奪を獲数、附近 名を残し五十名を拉数、附近 の部落に放火掠奪を獲にしつ こ站守備験よりは二十一日数 と競りを設した

忠靈塔建設費に

株式會社

大連市若狭町二三二番 塩新京日本通り新京日本通り新京ビル電話 三 六一 三 番電天 子安通り輸入ビル

管

區所

員段

各 地 天 社 社 社 在 上

三十

名名

+

員

本内地に於ても全國的に愛國 本内地に於ても全國的に愛國 的運動に支持され着々準備は 港掛してゐるが、住友合資會 社々長住友吉左衛門男は二十 一日大阪朝日新聞社を訪れ金 友男寄附 時三十分發列車で新家を出發 等傷病長は二十三日午前十一 りを見て感激した、なほこれ

補州國四ケー

六道溝襲擊

附近一帯匪團

一裏間を右建設部附金として 一般國民に對する影響も甚大 なるものと観られてゐる 福 稍稍

美

洋

髮

7 =

キュアー、

御着附

野京大和通四九

大和化粧院

美顔術

陆

大百の匪城積行しつゝあり同 ・ 一等には王殿陽の率る約 ・ 所近一等には王殿陽の率る約 ・ 所近一等には王殿陽の率る約 ・ 一等には王殿陽の率る約 ・ 一等には王殿陽の率る約

日

便所は必ず

め置く各界の意見を微すべく協和會チテハル地方事務局に

を導き出すべきものとして其め且つ意見を持たしむる機選

ハル事務局の試み

今度懸賞論文を募集すること

の成果は期待されてゐる

百八十圓を

各戶に設置すべし

首都警察廳から珍なお達

論文締切は六月三十日で、

如くである

を急いであるがこの程新京城 の他の衛生設備に至つても本格味を帮ひてきたので各方 所の有無を調査したととろ 首都警察庭ではいよいよ夏も 屋、妓館百十敷軒について

本北浦農村問題に関して 、最作物改良の方法及試験 場の設立

長村金融調整の方策

東五條通四番地松山貞雄氏は中前七時の間居室内においてあつたレンコートポケット内の茶色藝口一個在中現金百八の茶色藝口一個在中現金百八の茶色藝口一個在中現金百八

農村治安及農村組織の系 耕貸款の影響及善後策 日

直射し、水銀柱はダンダン上 すつかり整ひ、弛緩した容氣は街中に漂ふてゐる、眞夏の力張い陽光はあらゆるものを

大るのも間近でせう、 雨季に 者さが続くでせる、 雨季に るが、 こゝ二、三日は

懸賞論交募集

に七百五十六ミリがあり、

たるさうにぐんにやりとなり をか窺はれる、果物店には青 に費るアイスクリームの族は に費るアイスクリームの族は

発、また上昇、けふ午後三時 ・ 現在七百六十四ミリの高頻 ・ 原が日本海からオホーツタ

は張く便所に関する取締規定を設け必ず便所に関する取締規定を設け必ず便所は各戸に設けるべしといふ日本人には考へられないやうな面白い規定を

衛戌病院入院

線け、行人のステップにも、 は急テンポに属夏への行進を 春の訪れも東の間大陸の氣候 ニ

▲野田新氏(富士町二丁目二十一番地)長女里子さん十一番地)長女里子さん十四日出生 一番地)長女里子さん十四日出生

歐洲書壇に時め

腕一本の畵家

もと満鐡社員から轉向した

江崎義朗畵伯語る

マントルの市街は實に群かな な 一 秀に彼に大きな實跡を浴 せたことによつても背かれる せたことによつても背かれる

十三番地)長男泰輔さん十 三日出生

▲赤縅武男氏 (三笠町三丁目) 一番地ン女員子さん二十三 香地)長女原子さん十六日

家らしい熱情的な態度で語るを訪へば快く記者を迎へ藝術 ●非上千里さん(露月町二丁 日四十號ノニ十二)二十二 日午前七時死亡

園料

かっ

西公園入

へ、慰讃祭其他催物参列者 時より七時まで) 時より七時まで) 者 、中民早起音等加者

数項四公園人園料徽取の報一度ひ傳はるや赞否の投售日々公園市務所に或ひは地方事務所に就とは地方事務所に就とは地方事務が、て更に開き者間に最を練つてゐるが目下の案としては左の如くであるがナ体左の始り決定を見るものと思はれる一、料金一国二銭 結局一回二錢見當

華かな欧洲高塊に天晴れ片腕の野人温家として、萬丈の領に元流鏡社員だつた、臨伯はは元流鏡社員だつた、臨伯はは元流鏡社員だつた、臨伯はに元流鏡とり、関東電道に志し、黒山湾知高伯に師事に志し、黒山湾知高伯に師事にあり、アランスに留學、硫七郎等、氏の熱情と熟誠はその作品とふもに歐洲高塊に認められ、一九二八年いらい巴里のサロンに入選すること五回のサロンに入選すること五回のサロンに入選すること五回のサロンに入選すること五回のサロンに入選すること五回のサロンに入選することである。 育つて見ると皆んなそれぞ ひ出の種です。再ひ舊友に ひ出の種です。再ひ舊友に

4

日

九、水利の機充及水塔の豫防 ・ 温馴農産物の處理方策 ・ 、 二等十元であるが此の計 ・ 、 二等十元であるが此の計 ・ なれて ・ 、 二等二十 ・ 本 なれて ・ 、 二等二十 ・ 本 なれて ・ かれて ・ 本 なれて なれて

安岡縣城には縣長多事官籠城 十一日警察職では一条交派、吳縣成等約千五百名 つた百餘發の彈懸な祭で源、吳縣成等約千五百名 死の奮服を織けて尽祭を滅に包置され危險迫る 死の奮服を織けて尽い。

籠城の安圖縣に

彈藥公金

の空中投下

中央社會事業聯合會

名は式後午前十一時半、宮内 られ、優選なる御言葉を賜り 一同感激退下した

成功した平

| 落下傘を十二 | 水上空に達し低

成立大會學行

功勞者の表彰も行はる

滯京中

7

ス嬢

八〇十

が行はれた(宮庭は肥念撮影) 典肥念社會事業功勞者の喪彰

配念撮影)

おり おいり ない 富士山間で をなし はいり ない 富士山間で をなし

康徳皇帝に拜謁

功勞者廿五名

拜謁を賜ふ

内、豪帝に関見を賜り感激に 中であるが二十二日午前十一 中であるが二十二日午前十一

紙は「彼はフランス人の横く ・ は、では、フランス人の横く

た社會事業功勢者廿五

る事を設き、殊に満洲國に於 は公誠、仁愛、責任、名譽の四 は公誠、仁愛、責任、名譽の四 を開示した、終つて鄭穂瑚、 を開示した、終つて鄭穂瑚、 で、字作美願問より訳辭があ で、字作美願問より訳辭があ

八七六

、農村販賣組合の設立及利、農村富泉の擴充及獎勵法、農人の整理及價違策

孝女井上さん

百

E

ロ 制服制頼の軍人、警官 イ、無令に達せざるもの ・無料人場看は







Bei I 81

支店

電話二〇大三番 電話二〇大三番

勉强の店 品雜貨

無話ニーニ七番

保證人一名を要す(當地居) 履歴書持參來談のこと 新京日本橋通三十番地 新京金融組合

給仕一名へ成績に依り事務員とすこ

をキャラコの布で包み二本系

かれるから

生きる爲めの剛爭に頭をた」

橋を澤山のせ板よりも二寸

るめて紐でしばつてアイロンがかかります、又もつとカンがかかります、又もつとカ

なのですが慣れ

家のない家に足かむいた空氣の色迄黒色に變つた空氣の色迄黒色に變つた

が慣れる

色

の際げる場所もこれと同様

夕暮一に水はやらない

白ソー

ス N

田色のものできるというには、
一次のでは、
一次のでは、
一次のでは、
一次のでは、
一次のでは、
一次のでは、
一次のできるが、
これに認知なる長田幹彦が
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と
これに悲劇と

巻巻に富む お徳用ない

ルキン醤油

發賣!!

すが

しい初夏さな

りました。

每度御引

弊店儀此度日本の名醸

を發賣することになり

ました。電マルキ

品金マルキン醬油

立を蒙りありがたうど

ざいます

んげ

0

がなかい を催す、これが でれず でれが

御注意を要するかずり

キラキラとまばたき先づメラ 近代文明の端緒をなす電燈が をなず電燈が たことは既報の通り の都へ設備の起工に着手す

帰園では此の程、美人採點法を互の如く决定した、女の美を百點とすれば額が六〇點、 眼二〇點口と姿が各々一〇點 洗ひ流しの残飯は、小皿等に がいたものは、罐に入れて貯 めておきます。からしてため たものを香ばしく煎り、豆な だ煎つて一緒に混ぜ砂糖をま がしますと美味しいお菓子に なりまず、又御飯が残つて始 かってよく煉ると餅のや うになります。これを平く丸 ので、油を引いた鍋で焼くと

日に何度とも即ち場所

通風と、

残り御飯

たっと茹でます、次に馬鈴薯を は大火に入れて、上に小さく分 ます、焼けたら味の素と鹽を 混ぜ合せたものを振りかけて おきます、出來たいしず」 △…材料、いんげん、馬鈴薯メリケン粉、バタ とます、大にこれを鍋にバタを敷く煮立てた中に入れていため、味の素、鹽で味をつけます、馬鈴薯は皮を剝いて、一日に食べられる位に切り、ざつと茹でます、大に馬鈴薯と

完結して**ゐる**

世

1

御愛用の程!!

特約店

新京日本橋通三九

御滿足を得られます。

の自信を以てお奬めし

度御家庭で御試用下

さいますればきつと

一」の好評を博して居

る最上品さして絶對

ン醬油は品質風味共に

最も優れ

「断然日本

十三日 (土曜) 新京 大時 〇分 ラデオ 大時 〇分 三二 一十時三〇分 經濟市 一十時三〇分 經濟市 十時三〇分 經濟市 ラ湾ニョ源 リ市 リ リ市 リ

しなければなりません、若しせられた熱を冷まさぬやらに

一夜間一は相當冷へます

婦の

3

モ

文

没後は夜露が相當降りま

假令ば夕刻乾き加減で

生きて行く道が酸然と其の間 生きて行く道が酸然と其の間

四時丸〇分 四時三〇分の一 四時四〇分 五時 〇分 り日、経済市と

然々な過去がある 人の世の哀樂があり 人の世の哀樂があり **人間は苦しみを求めて行かね** 空と土のある限り 九三四、火、二二〇 医曼 Tá T

のピアニスト名手が馳せ加つ側年通り本月廿五日から五日

る國際ピア

ノ競演會は

かけるには

暗闇がまった後 風が去つた後 風が去つた後

ンのピアノ

か

6

煮る 本 意類は水に浸して 糖揉 と柔かになる 本 高野豆腐は哲 と柔かになる 本 高野豆腐は哲 と柔がになる 本 高野豆腐は哲

魔に生きてゐる 臨に生きてゐる

られた故郷の山肌の土に

嵐が楡の葉の一つ一つの生命

本大根を煮る時の水は極く少 くする本転魚を煮るには最初 の水煮を十分にすることが肝 の水煮を十分にすることが肝

空虚な魂が遠い想出の世界に 同物なの響が私の魂を打つ 同物なの響が私の魂を打つ

知つとくと重賓

コ

ッ

魂のさ」

やき

一歩一歩近づいた を抱きながら

向、昨年一等賞の榮冠をかち て思ひ思ひの妙抜を見せる館

もじの大きいものを作り柄は いものです、家庭で簡単に作 るにはポール紙か板でおしや

でる事が出來ない 数會の朝の前りが合唱された 教會の朝の前りが合唱された

電子が

昭和天覺試合も、講談に談俱樂部 七月號 講談俱 五時三〇分時 六時五五分分分 神事解 水 象雅

粗末なきサービス

振り

●ガスの出なり

●火持の良い

●立消へせぬ

ひて居り

ユノケントウデショコフムがヘマシタ「ボタハコレカトカヘツテキマス、ソノトコンがが、ケフノケイコモラノカネが、ゴーン、ゴーフタテルマデ、ケイコニハウタテルマデ、ケイコニハウタテルマデ、ケイコニハ

79

37

強致します 一二十人様迄の

語三四二丁 〇



木香青白

炭油酒素

田

概息大和通四七

梅枝町三日 お産なさるなら

絶對他。進隨と許さめ



言豫大倫運

料あ

金た

6 0 5 2

ねば

東

京納

純

E

部

●目 方 正 確

,湖用

食料雜貨 正直+店



商店 同 上 下 揃

=

- 替へズボ

Ry

院婆

隨派

時 遺 産婆主任

字野のぶよ

請負業清 他 組 新京興安大路中學校前廢線用地十四番地 中央都合に依り左記の場所に移轉仕候 知

池池 ★市 車郎 組 夏の釈製洋服類

新京朝日通一九(朝日通交番所前)

博愛醫產院

(前花開)三ノ三町祝京新 內店質屋浦三

H (1) 話京 四朝 七日 二通 三四

建築料材 商 天 話=== 九九六二 商 七五

美術看板

~

4201681133333333333333333

定休日御知らせ

毎日曜日午後を定休日ご致

します

新京ダ

1

+

新京日本橋通

場所

旅館內

高島正象師來 し今直ぐ來れ の幸福好機再ひな 六月廿日より 秘密嚴守 三5 鑑定料 日 三圓

お似はさう言うて、宛ら歌天師お似はさう言うて、宛ら歌歌は、自分の歌がであるかのの歌がであるかの

(四)

苦るしい不眠も 健康な

資滿本 本 之 店店

一億四全额拂込濟

株式會社等京

所

機械

是を飲み出してから 何時となしに忘れ

重い頭が次第に輕くなる

でき、それから家のは、野返しかけ、では、手水飯を採出して、簡を完。

と、母鼠の方からお定が姿を見

まるまでは、母院へ利用しせずと

婚の第一日をすごすがよい

「お客はお日ざめてござりまし

まる私もい

を置いながら、おいは川分で人先

たととは

一時夫婦は午後のおいのりが

お高の言ひ解ひてとして耳にメリ

花屋でありながら時過ごしてはな りと張れ悪った上天はであった。

数にすはつて居二。

まだふか々と眠入つて

ちとし、のであったが、お足が、おんの目をはしへ控形に出、け

て心思なことで、不既能に罹ると 睡眠は心身の際上生

配っても実施されず、推想を見た 存分があしてもず間。へ集中した 即後が全身へ遅流せず、町がポカ 夜中に半ば目覚めたりして、 眠むり足りない気持ちが 生 | 四子上の試験 | 「「「「「「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | ニラノ 動揺して経々関繁が進り、興奮したりして益々関繁が進

れて泊めて頂きました」

要に少しも、髪つた磁かない

の山の変や、門前の立山や、畑の

北陸の坐版から見る彼方のとい

との自己であった。

お脈は前の物質を変したが、何一映じた極きとは、すつかり、風つくお思っこさります」

芸神院も昨夜の興風雨に配りそび

春暖の 日に すのはボヤ 神経が慰伽に導かれると

飲みなれて、却つて習慣性にヒド 眠の悲しさに一時じるの問題就を 関係家の養命酒を飲むと、手足の クなったと云ふ人も世間にはある 安眠熟睡が 就慢の時、小盃に一ペイプト

様に何事も忘れ去り、無心の小記 たす、 伸々する様な得もごはれぬ は元気に刺として即かヘッキリ よい気持ちになつて陰の中が空の くなり、整脳も仕事も而白く他学

△鍛

が増進し、こんな感しい事はない と、本常に設から残らばれてゐる

門殿界に最質な

永年濃霧に閉ざされた

頭がハッキリ朗らかとなる

千葉縣安房部

相

次

して呼吸を持むすのである。

日

京

1

S STATES

本・単盛一般を識れめ殿府政と との事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一に代表され、他人の懲戒を厳しま では多報明さされた震響の中からにて養婦意が、良いとの事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一にて養婦意が、良いとの事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一にて養婦意が、良いとの事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一にて養婦意が、良いとの事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一にて養婦意が、良いとの事を聞 の然方に小生自身はが敵、家族一に大いに関び居ります。それで る好評日に高き鹽産家三百年來の 家性秘法で整造された費的酒を早 役に立ちません。 理例が説の上御祭び下さい。

意外験る深版を 意外

等の荷荷酒よりも

燒

肝

吸

並

287

大和通五一

い事を質物で紹介す

生)

(8

楽まるのであつた。

その時次の中でかたこととある

したのは、どうやら戦之丞も戦

かしら自分を見らるよのが、けづかしら自分を見らるよのが、けづ

たふぜいを添ている際に配められ

かりとのであったが、戦之派はも

戻ぜられる。

お春に初めて不明な、既の歌に

き、愛腊する東約十ヶ年、水年苦安で小生は益々養師社に世帳を置

す。これはいいかさん (九年三月二日付)

通四丁目 と、微地数紙

から、東京市海

本無料で送呈中です

生

うちゃんとなったが、動之本は

接したやうな気がしたる

人はの婦女となり、人妻となつ時日までは歴女で、か日はもう

でらしで、夜耳はいいつでも、

うに、お茶けけんその心地になっ

●貧血冷込みの

「お牧職、押光からくの、やも

そんな時にや受けるのはう

金盘

表質のの

〇全國有名の襲店、

お駆は夜具を引つたくり自身で

と言ふでの身には同場にの事件でと言ふでの身には同場にの事件で

◆不眠・息切れの 報報 変弱の

家選傳澤

命

衰弱

信州伊那の谷名産

日米專賣特許

酒は白鶴

料理は活

洲

心象族御同伴お

である方が時にそんなことをお

たと言ふことは、

何としても

お定ち、家の心へ這人つて米て

言ってわらった。

一冊な機能のお食事は私が什些

られると言ふ幸福は、門人の中に

て初めて厳した人に身をまか

のみならず時候に女と生れてき

◆腦力精力減退人

原還設置元 養命酒 不鋪 天龍館

くく 弱 い

薄

弱の

出

要所

養命酒本舖出張所

食边梁

は東京六八八五五十 に 声山 ユニ九八谷

曹 新 町二丁目

二人位しからいばれない幸

◆産前産後の婦

高話長三〇〇.

株洲代理店 同 スース・ルング 合名 會社 土建 本店 金物商會新支店

電話長三〇〇七番 電話四九五六番地 五六番 七番六番地番

△平浪板、洋釘、針金 △建築土工用諸金物 ベーツ・ト 鐵工製品一式

大街 行 滿 四〇八〇番 金

御申込は

和洋行

生

揃取法寸各 富豐庫在

取扱懇切の保険は信用厚く

取汲 意物、激粉、大豆其也豆煎、取汲 意物、激粉、大豆其也豆煎、 話電 二三六〇 所 要 席

真 珠oag印畫紙ピノデAB印畫紙 コハク絹目印書紙 御紹介 新印畫紙 カイー用として外國品に優るです是非一度御試験下さい!! 宮野町二丁目 乾寫。眞常販賣部

ボッチヤンジョウチャン 散歩の 安原でい 支 店 あ供

品定指御省官諸 水性塗料の權威

小兒科 新設 產 花 科

島 電話三八五八番新京室町二丁目公學堂前 科科

入往 診院 院診 時 日

婆

夏の

华衿 帶×、帶揚、小門物類

豐富荷清!

輸入組合加盟店

既話三〇九二番

店

到 制 新京日本福通廿五 新京日本福通廿五

其 他 洋服附屬品

取 絹布、 各國產羅紗、 卸糸類 扱品 別珍、アルバカ、芯地 目 軍服地、 綿布